



子ども司書が おすすめします

須崎市には15名の子ども司書がいます。子ども司書は、1年に40冊以上の本を読んでいて、学校で友だちに読書の楽しさを伝える活躍をしています。



私の「この一冊」
ガリバーのいない夏

新庄小学校六年
鍋島のかさん

この本は、ガリバーという女の子が仲良し3人組に、いつも悪いことをしたら先生に言うので、おこっただけで済ませました。でも、そのしかえしがとても悪いことだったので、ガリバーは泣いてしまいます。そこでやっと3人はどれほど悪いことをしたかがわかって、あることをガリバーにしてあげます。この本は夏の話の本なので、夏休みにぴったりだと思います。ぜひ、読んでみてください。



私の「この一冊」
西の魔女が死んだ

須崎中学校二年
岡崎 恵美里さん

この本は、中学に進んでまもなく、学校に足がむかなくなった少女まいが、初夏のひと月を、西の魔女ことママのママ、つまりおばあちゃんのもとで魔女の手ほどきを受けるといふはなしです。わたしはこの本を読んで、人には必ず心を休める場所があるのだと思いました。主人公と同じ心境の人に読んでもらえたらいいなと思います。



私の「この一冊」
源平の悲劇の武将 源義経

新庄小学校六年
市川 武典くん

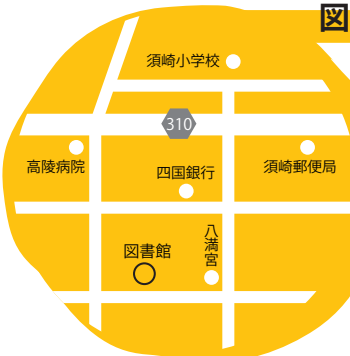
源義経は、幼いころは、牛若丸とよばれていました。牛若丸は、赤ちゃんのころ、平氏の大將の平清盛に、「7さいになると、寺に入れ」と言われ、お寺に入りました。牛若丸は、何度も母に会おうとしましたが、母は清盛の近くにいます。会おうと思えば会えるけど、そうすれば母がこまるのは分かっていました。ですが、ある夜、変そうして母に会いに行きました。そこで弁慶に会い、牛若丸はおそわれてしまいます。続きは、読んでみてください。

本を借りよう!

図書館には学校にない本もたくさんあり、毎月いろいろな新刊も入っています。図書館の中で読むこともでき、借りて家で読むこともできます。

須崎市に住む人、通勤・通学する人でしたら、だれでも無料で本を借りることができます。はじめて借りるときには、利用登録が必要です(小学生以下は保護者が登録)。登録には、学生証・運転免許証・健康保険証などを持ってきてください。

図書館へ行こう!



西古市町 6-15 ☎42・2141
開館時間
午前8時30分～午後5時15分
休館日
月曜日・祝日
(月曜日が祝日の場合
火曜日も休館)

家でも本を 読んでみよう

朝の読書も定着し、いろいろな本を読む機会が増えてきたと思います。今年は6月24日から7月8日までの間、各小中学校で読みたい本を選ぶ選書会を行いました。2学期には各学校の学級文庫に入る予定です。選んだ本は学校ではもちろんのこと、お家に持

ち帰って読むこともできます。これからは、朝の読書から家読(うちどく)へ広げていきたいと思っています。最後に、この夏休みに図書館に行ってみませんか。きっとたくさんのお本の中から読みたい本との出会いがあるはずですよ。



日本で一番子どもたちが本を読むまちをつくる会
会長 和田 耕造さん